

8 月 の 都 内 経 済 状 況







コンサルティング事業部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		8月の都内の景気は、緩やかに回復している。百貨店、スーパー、コンビニエンスストアの売上は、いずれも増加した。乗用車販売は10ヵ月連続で前年を上回った。住宅着工は2ヵ月ぶりに前年を上回り、公共投資は3ヵ月連続で前年を上回った。輸出は10ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率は高水準で横這い。企業倒産件数は5ヵ月ぶりに減少した。工業生産(7月)は2ヵ月連続で前月から増加した。29年度上期の設備投資計画額は前年比増加見込みで、同期の経常損益は同増益見込み(法人企業)。
今後の見通し (3ヵ月)		都内の景気は、引き続き緩やかな回復が期待される。新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、アメリカの政策動向、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、前年同月比2.7%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った(既存店ベース)。入店客数が前年を上回り、主要5品目の動向も、家庭用品と食料品は前年を下回ったが、主力の衣料品が22ヵ月ぶりに前年を上回り、化粧品や高級腕時計などが好調な雑貨や、ラグジュアリーブランドを含む身のまわり品も増加した。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比2.7%増と6ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。衣料品は低調だったが、飲食料品が増加した。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストア売上高は、前年同月比2.0%増と54ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から1.3ポイント縮小した(全店ベース)。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比4.4%増と10ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から2.7ポイント拡大した。車種別でも、普通車(同1.1%増)が2ヵ月ぶりに前年を上回り、小型車(同5.9%増)は10ヵ月連続で、軽乗用車(同13.3%増)は5ヵ月連続で前年を上回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比6.5%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家(同▲3.1%)、分譲一戸建て(同▲0.9%)、貸家(同▲5.8%)は減少したが、分譲マンション(同71.7%増)が大幅に増加した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比15.2%増と3ヵ月連続で前年を上回った。発注者別では、東京都(同▲41.4%)、市区町村(同▲20.2%)、地方公社(同▲39.8%)は減少したが、国(同71.5%増)、独立行政法人(同83.8%増)が増加した。
貿易 (東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比21.2%増と10ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別でも、アメリカ向け(同27.2%増)、EU向け(同16.5%増)、中国向け(同32.6%増)、アジアNIEs向け(同17.5%増)、ASEAN向け(同30.7%増)がいずれも増加した。
設備投資 (法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(7~9月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の29年度上期の設備投資額は、全産業が前年同期比13.7%増、業種別では製造業が同19.6%増、非製造業が同10.6%増と、いずれも増加見込みとなっている。
企業収益 (法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の29年度上期の経常損益は、全産業が前年同期比5.1%増の増益見込み、業種別では製造業が同23.5%増の増益見込み、非製造業が同▲2.0%の減益見込みとなっている。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.10倍と前月から横這いだった。先行指標とされる新規求人数は前年同月比1.9%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。南関東の完全失業率は2.9%で、前月から0.1ポイント低下した。完全失業率の改善は3ヵ月連続。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲23.7%と5ヵ月ぶりに前年を下回ったが、負債総額は同50.3%増と3ヵ月連続で前年を上回った。1~8月累計の倒産件数を業種別に見ると、全体が同5.1%増で、サービス業(同21.9%増)、卸売業(同4.3%増)、情報通信業(同4.8%増)、建設業(同4.1%増)、製造業(同6.0%増)、飲食店・宿泊業(同25.0%増)などが増加し、小売業(同▲12.6%)、不動産業(▲10.2%)などが減少した。
資金需要 (銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比4.2%増と72ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.3ポイント縮小した。増加幅の縮小は3ヵ月ぶり。

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一)口メモ 増加する東京の高齢者人口 東京都の推計によると、今年9月15日現在の都内の高齢者(65歳以上)人口は、305万2千人となり、対前年比では3万7千人(1.2%)の増加で、総人口に占める高齢者の割合は23.3%。また、75歳以上は初めて150万人を超えて152万6千人となり、同5万3千人(3.6%)の増加となった。
5月 89.9 (▲3.0)	5月 109.5 (▲2.0)	6月 99.9 (0.1)	
6月 93.2 (▲1.1)	6月 120.2 (0.7)	7月 99.7 (0.2)	
7月 97.0 (3.7)	7月 97.6 (▲14.6)	8月 100.1 (0.5)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
		晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨